

平原児 (1936)

THE PLAINSMAN

メディア 映画
ジャンル 西部劇
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 113分
初公開日 1937/03
公開情報 劇場公開

【解説】

西部劇大作の代表格として戦後も何度かリバイバルされているデミル作品で、「オペラハット」のコンビ、クーパーとアーサーがそれぞれ、ワイルド・ビル・ヒコックとカラミティ・ジェーンという伝説的ガンマンの半生を演じたのが好評で大ヒットした。その他、バッファロー・ビル（J・エリソン）、カスター将軍も登場し、さしずめ西部の“忠臣蔵”映画の趣き。さすがデミルといった所だが、全体に大味な所も彼らしい。もちろん、ヒコックとジェーンの秘めたるロマンスが、物語の核となる。可憐な男装束のアーサーは印象的で、まず一番の見もの。悪役のインディアンに、翌年デミルの娘婿になるA・クインが縁故採用で大抜擢。こういう、いい意味でのいい加減なウェスタンをもっと観てみたい。

【クレジット】

監督	セシル・B・デミル	Cecil B. DeMille
製作	セシル・B・デミル	Cecil B. DeMille
原作	コートニー・ライリー・クーパー フランク・J・ウィルスタック	Courtney Ryley Cooper
脚本	ウォルデマー・ヤング ハロルド・ラム リン・リッグス	Waldemar Young Harold Lamb Lynn Riggs
撮影	ヴィクター・ミルナー	Victor Milner
音楽	ボリス・モロス ジョージ・アンセイル	Boris Morros George Antheil
出演	ゲイリー・クーパー ジーン・アーサー ジェームズ・エリソン チャールズ・ビックフォード ポーター・ホール ヴィクター・ヴァルコニ ヘレン・バージェス ジョン・ミルジャン ギャビー・ヘイズ アンソニー・クイン フランシス・フォード	Gary Cooper Jean Arthur James Ellison Charles Bickford Porter Hall Victor Varconi Helen Burgess John Miljan Gabby Hayes Anthony Quinn Francis Ford